

確定拠出年金1428億円塩漬け 転職時など手続きなく

座小田英史、神山純一 2016年11月24日 05時05分

シェア

23

ツイート

list

ブックマーク

14

メール

印刷

確定拠出年金の「塩漬け」資産は増える一方



確定拠出年金の「塩漬け」資産は増える一方



企業が設けている 確定拠出年金 (DC、加入者約548万人) で、運用されずに放置されている年金の預かり資産が1400億円を超えていることが分かった。DCの加入者が転職時などに必要な手続きを取らなかったためだ。資産は 厚生労働省 が所管する 国民年金基金連合会 (国基連) に移されて「塩漬け」になり、老後資金を運用する機会を逃している。

実名をHP掲示しても持ち主不明 確定拠出年金の放置 →

国基連や金融機関への取材で判明した。放置されている資産は、2016年3月末で約57万人分、1428億円にのぼり、前年より約207億円増加。この5年間で2.6倍になった。

資産が「塩漬け」になっている恐れがあるのは、転職で勤務先の企業が変わったり、会社勤めを辞めて自ら事業を始めた人ら。

確定拠出年金法では、企業が設けたDCの

加入者が、DCを設けていない会社へ転職したり、自営業に変わったりした場合、個人型DCへの切り替えや、加入の状況によっては一時金受け取りの手続きを6カ月以内にとる必要がある。

手続きをとらなければ、資産は国基連に自動的に移される。この資産は、運用されないため利息がつかないうえ、1口座につき約4千円の手数料や年約600円の管理手数料を差し引かれて目減りしていく。

Boseの小型・簡単・高音質オールインワンオーディオ

WAVE SOUNDTOUCH MUSIC SYSTEM IV

キャンペーン実施中

[PR]